

第3期愛知県がん対策推進計画の目標指標の状況について

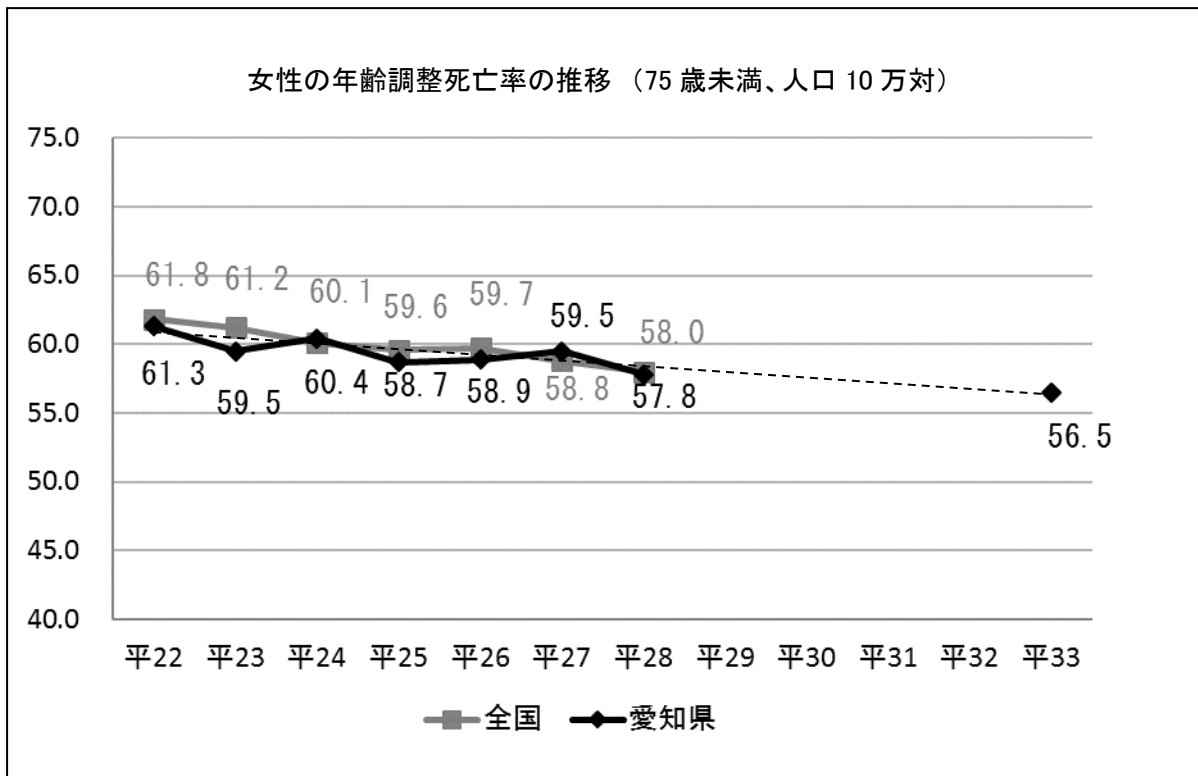
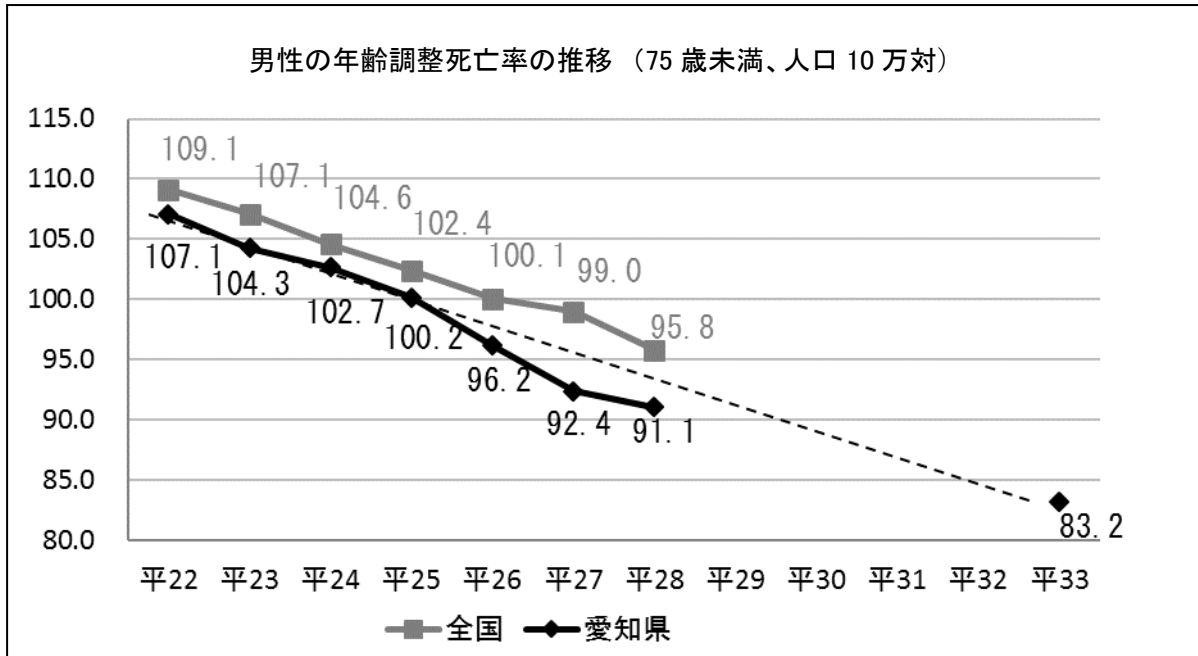
◆全体目標

- 1 がんの予防、早期発見、治療等様々な取組を行い、がんで亡くなる人を減らす
 がんの年齢調整死亡率の減少（第1期計画からの継続目標）

目標指標	第1期計画策定時 (平成19年)	第2期計画策定時 (平成24年)	第3期計画策定時 (平成29年)	平成30年度	目標 (平成35年)
年齢調整死亡率 (75歳未満) 人口10万対	男性 119.5 女性 65.7 (平成17年値)	男性 107.1 女性 61.3 (平成22年値)	男性 92.4 女性 59.5 (平成27年値)	男性 91.1 女性 57.8 (平成28年値)	男性 83.2 女性 56.5 (平成33年値)

データ元：国立がん研究センターによる

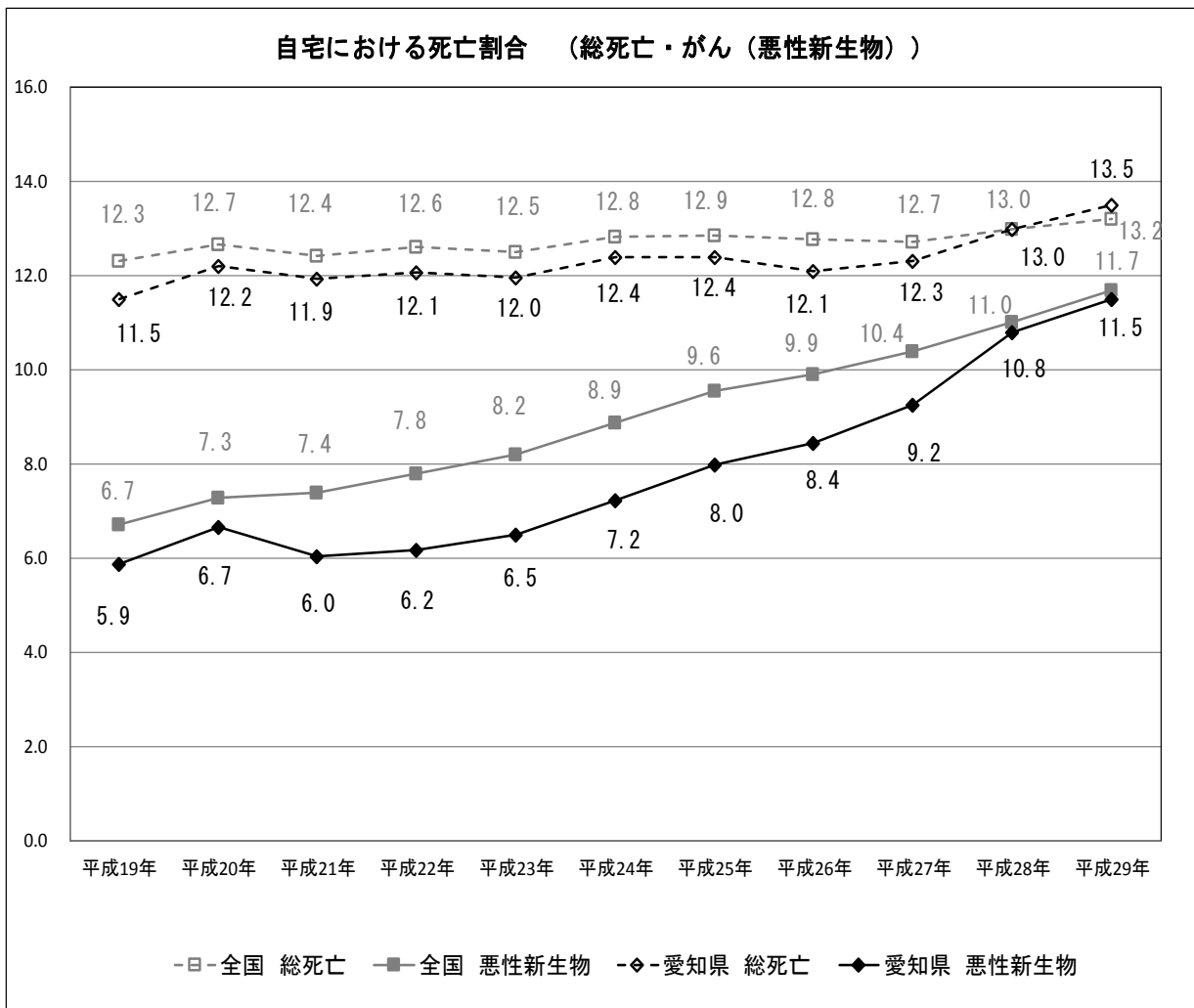
(注) 人口10万対(1985年日本モデル人口による調整)



2 住み慣れた地域で暮らすがん患者や家族を支援し、自宅で治療が続けられるがん患者を増やす
 自宅で治療が続けられるがん患者の割合の増加

目標指標	第2期計画策定時 (平成24年)	第3期計画策定時 (平成29年)	平成30年度 (平成29年値)	目標 (平成35年)
がん患者の自宅における死亡割合	6.5% (平成23年値)	10.8% (平成28年値)	11.5% (平成29年値)	14.0% (平成34年値)

データ元：厚生労働省「人口動態統計」



◆個別目標

1 がんの予防の推進

(1) 喫煙対策の一層の推進

目標指標	第3期計画策定時	平成30年度	目標
成人の喫煙率の低減	男性 26.1% 女性 6.4% (平成28年)	— (平成33年調査予定)	男性 17.0%以下 女性 4.0%以下 (平成34年度)

データ元：愛知県「生活習慣関連調査」

(2) 食生活、運動習慣とがんの予防に関する知識の周知

目標指標	第3期計画策定時	平成30年度	目標
1日野菜摂取量の増加(※1)	254g (平成25～28年)	256.9g (平成26～29年)	350g (平成34年度)
運動習慣者の割合の増加(※2)	20歳から64歳	男性 27.4% 女性 23.5% (平成28年)	— (平成33年調査予定)
	65歳以上	男性 50.8% 女性 45.8% (平成28年)	— (平成33年調査予定)
			男性 31.0%以上 女性 27.0%以上 (平成34年度)
			男性 56.0%以上 女性 54.0%以上 (平成34年度)

データ元：※1 厚生労働省「国民健康・栄養調査(愛知県分)」(30単位地区以上となるよう4年分のデータを用いている。)

※2 愛知県「生活習慣関連調査」

2 がんの早期発見の推進

(1) がん検診の受診率、精密検査受診率の向上

【愛知県】

目標指標	第3期計画策定時	平成30年度	目標
がん検診受診率の向上	胃がん 9.1%	胃がん 10.1%	胃がん 50.0%
	肺がん 14.9%	肺がん 9.1%	肺がん 50.0%
	大腸がん 15.7%	大腸がん 8.9%	大腸がん 50.0%
	乳がん 26.5%	乳がん 15.6%	乳がん 50.0%
	子宮頸がん 29.2% (平成27年度)	子宮頸がん 15.0% (平成28年度)	子宮頸がん 50.0% (平成33年度)
精密検査受診率の向上	胃がん 78.7%	胃がん 79.6%	胃がん 90.0%
	肺がん 77.3%	肺がん 82.2%	肺がん 90.0%
	大腸がん 69.5%	大腸がん 70.9%	大腸がん 90.0%
	乳がん 84.9%	乳がん 87.5%	乳がん 90.0%
	子宮頸がん 66.3% (平成26年度)	子宮頸がん 66.2% (平成27年度)	子宮頸がん 90.0% (平成32年度)

データ元：厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」

(40歳から69歳を対象として算定、ただし、子宮頸がんのみ20歳から69歳を対象)

【全国】

目標指標	平成29年度	平成30年度
がん検診受診率の向上	胃がん 6.3%	胃がん 8.6%
	肺がん 11.2%	肺がん 7.7%
	大腸がん 13.8%	大腸がん 8.8%
	乳がん 20.0%	乳がん 18.2%
	子宮頸がん 23.3% (平成27年度)	子宮頸がん 16.4% (平成28年度)

データ元：厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」

(40歳から69歳を対象として算定、ただし、子宮頸がんのみ20歳から69歳を対象)

<参考：国民生活基礎調査(3年に1回の抽出調査)>

【愛知県】

目標指標	平成27年度	平成30年度
がん検診受診率の向上	胃がん 39.0%	胃がん 40.4%
	肺がん 40.9%	肺がん 45.2%
	大腸がん 37.8%	大腸がん 41.6%
	乳がん 41.7%	乳がん 45.6%
	子宮頸がん 38.6% (平成25年度)	子宮頸がん 41.6% (平成28年度)

【全国】

目 標 指 標	平成 27 年度	平成 30 年度
がん検診受診率の 向上	胃がん 39.6%	胃がん 40.9%
	肺がん 42.3%	肺がん 46.2%
	大腸がん 37.9%	大腸がん 41.4%
	乳がん 43.4%	乳がん 44.9%
	子宮頸がん 42.1% (平成 25 年度)	子宮頸がん 42.3% (平成 28 年度)

(2) がん検診の精度管理の向上

目 標 指 標	第 3 期計画策定時	平成 30 年度	目 標
がん検診の精度管理の向上 (要精検率の許容値を満たす市町村数の増加)	胃がん 44 市町村 肺がん 43 市町村 大腸がん 29 市町村 乳がん 48 市町村 子宮頸がん 14 市町村 (平成 26 年度)	胃がん 48 市町村 肺がん 52 市町村 大腸がん 36 市町村 乳がん 45 市町村 子宮頸がん 15 市町村 (平成 27 年度)	全市町村 (平成 32 年度)

データ元：厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」

(40 歳から 69 歳を対象として算定、ただし、子宮頸がんのみ 20 歳から 69 歳を対象)

(注) 許容値は厚生労働省「今後の我が国における検診事業評価の在り方について」報告書によりしめされた許容値とします。

3 がん治療の推進

(1) 手術療法、放射線療法、薬物療法及び免疫療法等の更なる推進並びにチーム医療を担う専門的な医療従事者の育成

目 標 指 標	第 3 期計画策定時	平成 30 年度	目 標
日本臨床腫瘍学会認定の がん薬物療法専門医を配置する がん診療連携拠点病院等	20/26 病院 (76.9%) (平成 29 年 9 月 1 日現在)	22/27 病院 (81.5 %) (平成 30 年 9 月 1 日現在)	全てのがん診療連携 拠点病院等 (100%) (平成 35 年)
日本医療薬学会認定の がん専門薬剤師を配置する がん診療連携拠点病院等	19/26 病院 (73.1%) (平成 29 年 9 月 1 日現在)	20/27 病院 (74.1 %) (平成 30 年 9 月 1 日現在)	全てのがん診療連携 拠点病院等 (100%) (平成 35 年)

データ元：がん診療連携拠点病院等現況報告書、愛知県がん診療連携拠点病院等現状調査

(2) 外来における放射線療法及び薬物療法の推進

目 標 指 標	第 3 期計画策定時	平成 30 年度	目 標
がん診療連携拠点病院等以外で、 外来化学療法加算 1 を算定できる 医療機関を複数設置する医療圏	7/12 医療圏 (58.3%) (36 医療機関) (平成 29 年 9 月 1 日現在)	7/12 医療圏 (58.3 %) (34 医療機関) (平成 30 年 9 月 1 日現在)	全ての医療圏 (100%) (平成 35 年)

データ元：施設基準の届出受理状況、愛知県がん診療連携拠点病院等現状調査

4 緩和ケアの推進

(1) 緩和ケアチーム設置の推進

目 標 指 標	第 3 期計画策定時	平成 30 年度	目 標
緩和ケア診療加算を算定できる緩和ケ アチームを設置する がん診療連携拠点病院等	13/26 病院 (50.0%) (平成 29 年 9 月 1 日現在)	19/27 病院 (70.4 %) (平成 30 年 9 月 1 日現在)	全てのがん診療連携 拠点病院等 (100%) (平成 35 年)

データ元：がん診療連携拠点病院等現況報告書、施設基準の届出受理状況、愛知県がん診療連携拠点病院等現状調査

(2) 外来緩和ケアの推進

目 標 指 標	第 3 期計画策定時	平成 30 年度	目 標
外来緩和ケア管理料を算定する がん診療連携拠点病院等	13/26 病院 (50.0%) (平成 29 年 9 月 1 日現在)	18/27 病院 (66.7%) (平成 30 年 9 月 1 日現在)	全てのがん診療連携 拠点病院等 (100%) (平成 35 年)

データ元：施設基準の届出受理状況、愛知県がん診療連携拠点病院等現状調査

5 ライフステージに応じたがん対策の推進

(1) がん教育の推進

①子どもに対する健康と命の大切さ、健康管理、がんに対する正しい理解の促進

目 標 指 標	第 3 期計画策定時	平成 30 年度	目 標
各学校においてがん教育を実施 (がん教育を学校保健計画に位置 付けて実施)	1,077/1,196 学校 (90%) (平成 29 年度)	— (平成 31 年 3 月調査予定)	実施率 100% (平成 35 年)

データ元：愛知県教育委員会による調査

(注) 第 3 期計画策定時の数値は、平成 29 年度にがん教育を学校保健計画に位置付けた学校数

(2) 女性特有のがんに係るがん対策

①女性特有のがんに関する正しい知識の普及

目 標 指 標	第 3 期計画策定時	平成 30 年度	目 標
がん検診の受診率の向上	乳がん 26.5% 子宮頸がん 29.2% (平成 27 年度)	乳がん 15.6% 子宮頸がん 15.0% (平成 28 年度)	乳がん 50.0% 子宮頸がん 50.0% (平成 33 年度)

データ元：厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」

(乳がんは 40 歳から 69 歳、子宮頸がんは 20 歳から 69 歳を対象として算定)

(3) 働く世代のがん対策

①外来における放射線療法及び薬物療法の推進

目 標 指 標	第 3 期計画策定時	平成 30 年度	目 標
がん診療連携拠点病院等以外で、 外来化学療法加算 1 を算定できる 医療機関を複数設置する医療圏	7/12 医療圏 (58.3%) (36 医療機関) (平成 29 年 9 月 1 日現在)	7/12 医療圏 (58.3%) (34 医療機関) (平成 30 年 9 月 1 日現在)	全ての医療圏 (100%) (平成 35 年)

データ元：施設基準の届出受理状況、愛知県がん診療連携拠点病院等現状調査

②外来緩和ケアの推進

目 標 指 標	第 3 期計画策定時	平成 30 年度	目 標
外来緩和ケア管理料を算定する がん診療連携拠点病院等	13/26 病院 (50.0%) (平成 29 年 9 月 1 日現在)	18/27 病院 (66.7%) (平成 30 年 9 月 1 日現在)	全てのがん診療連 携拠点病院等 (100%) (平成 35 年)

データ元：施設基準の届出受理状況、愛知県がん診療連携拠点病院等現状調査

6 がんになっても安心して暮らせる社会の実現

(1) がんに関する相談支援及び情報提供の推進

①医療機関に関する診療情報の提供

目 標 指 標	第 3 期計画策定時	平成 30 年度	目 標
5 大がんの 5 年相対生存率を公表 するがん診療連携拠点病院等	10(2)/26 病院 () 内は一部公開 (平成 29 年 9 月 1 日現在)	13(1)/27 病院 () 内は一部公開 (平成 30 年 9 月 1 日現在)	全てのがん診療連 携拠点病院等 (100%) (平成 35 年)

データ元：愛知県がん診療連携拠点病院等現状調査

(2) がんに関する研究の推進

① がん登録の推進

目 標 指 標	第3期計画策定時	平成30年度	目 標
がん登録の精度指標DCNの割合	9.1% (平成26年度)	8.8% (平成27年度値)	5.0%以下 (平成32年度)

データ元：「愛知県のがん登録」

目 標 指 標	第3期計画策定時	平成30年度	目 標
がん診療連携拠点病院等におけるDCNの割合2.0%以下	14/26病院 (53.8%) (平成26年)	全国がん登録開始に伴うシステム移行の影響があるため、次年度調査	全てのがん診療連携拠点病院等 (100%) (平成32年)

データ元：「愛知県のがん登録」より、全届出件数に対する遡り調査対象件数の割合から算出